

経営比較分析表（平成29年度決算）

神奈川県 清川村

| 業務名 | 業種名 | 事業名 | 類似団体区分 | 管理者の情報 |
|-----------|-------------|--------|--------------------------------|--------|
| 法非適用 | 水道事業 | 簡易水道事業 | D3 | 非設置 |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 1か月20m ³ 当たり家庭料金(円) | |
| - | 該当数値なし | 97.62 | 1,663 | |

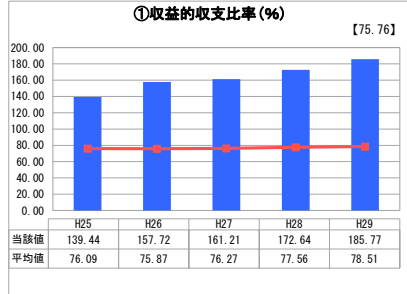
| 人口(人) | 面積(km ²) | 人口密度(人/km ²) |
|-----------|--------------------------|----------------------------|
| 2,979 | 71.24 | 41.82 |
| 現在給水人口(人) | 給水区域面積(km ²) | 給水人口密度(人/km ²) |
| 2,914 | 4.50 | 647.56 |

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



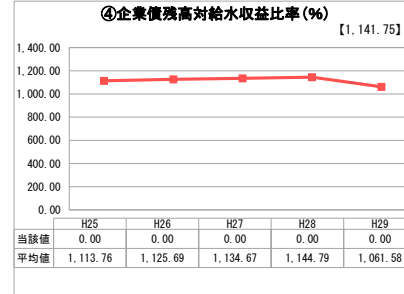
「単年度の収支」



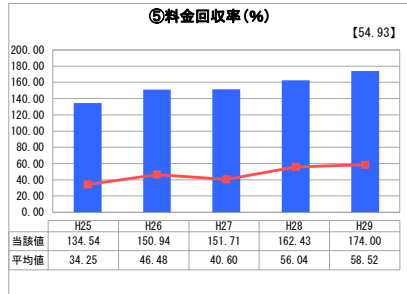
「累積欠損」



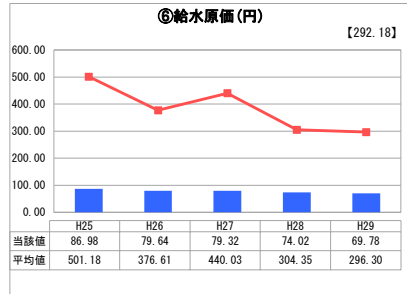
「支払能力」



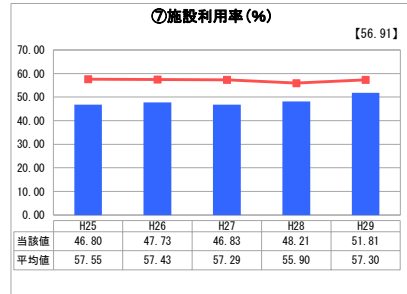
「債務残高」



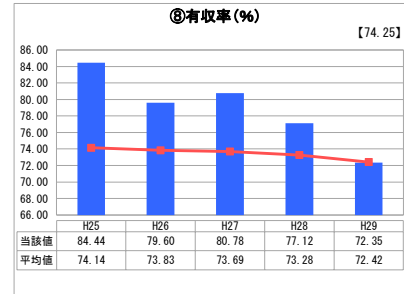
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

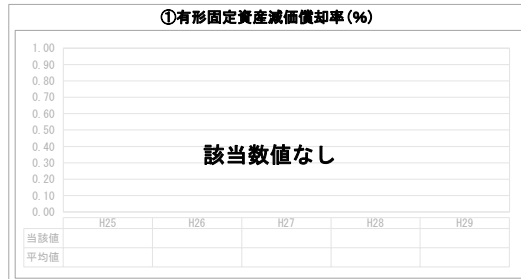


「施設の効率性」

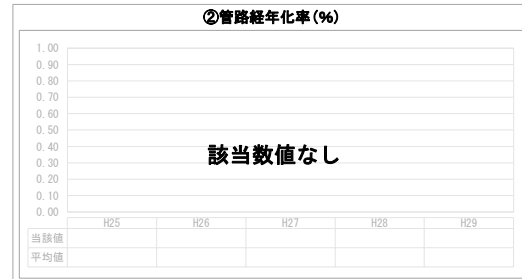


「供給した配水量の効率性」

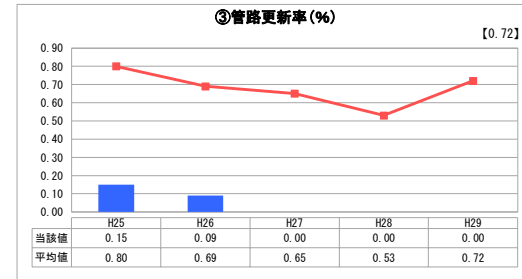
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は100%を超え、平均値も上回っております。また、企業債の借入高もなく、料金回収率についても100%を超え、平均値を上回った回収がされており、比較的健全な経営であるものと思われまます。

給水原価についても、運転管理経費を極力抑えていることから、平均値の4分の1程度で、かなり低い原価となっております。有収率については、ほぼ平均値となっておりますが、近年は下がり傾向にあるため、漏水調査を実施して、無効水量の低減に努める必要があります。

有収率の向上に努めて、より経営の健全化を図るとともに、料金収入が年々下がっている傾向のなか、施設の老朽化対策を講じていくため、更なる経費の縮減が求められます。

2. 老朽化の状況について

施設・設備の老朽化については、10年計画(H19～H28)を立て、電気計装設備等の更新・改修に努めてまいりましたが、機械設備及び管路について老朽化が進んでいることから、中長期的な財政計画を踏まえ、平成28年度に策定した「第2期更新事業計画(H29～H38)」に基づき、今後も適宜更新・改修を進めていく必要があります。

全体総括

近年、各家庭において節水型家電の普及、また、人口の減少に伴い、年々水道使用量の低迷が進んでおります。一方、施設・設備の及び管路の老朽化により、維持管理経費は増加傾向となっていることから、収支のバランスを見据え、施設管理の委託化による経費の縮減を図るとともに、平成28年度に料金の一部改定(値上げ)をしたものの、当面は国庫からの交付金等が見込めず、自己財源による経営となることから、財政調整基金の推移により、料金改定の必要性を検討していく必要があります。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。